

# F-REDD Newsletter

## Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project

Nov 2015 - Oct 2020

### 持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト(F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。天然資源環境省森林資源管理局(MONRE-DFRM)と農林省森林局(MAF-DOF)を実施機関として協力しています。

## REDD+技術作業部会合同会合開催

ラオスではREDD+を推進するために6つの分野(注1)において技術作業部会が設置されています。各部会はそれぞれの分野に関する国の方針や制度を検討する役割を持っていますが、同時に部会横断的事項への対処や協調も非常に重要です。

例えば、森林を含む土地利用変化の動向とその背景要因の共通理解は国家REDD+戦略を構築する上で必要不可欠です。F-REDDが支援している複数時点の森林区分図や、FCPF準備支援プロジェクトと共同で支援している全国レベルの森林減少・劣化地域要因調査は、衛星画像を元に、リモートセンシング技術を用いてラオスの森林と土地利用が直面している状況と課題を明らかにしようとするものです。

今回、REL/MRV技術作業部会の主催で、これらの中間結果の紹介と検証を目的とした、6つの技術作業部会による合同会合が開催されました。会合では各部会の専門家や開発パートナー各々の知見から建設的な意見が提供され、あわせて分析の改善点や現場レベルとのさらなるコンサルテーションの必要性などが確認されました。



6分野技術作業部会合同会合の様子

(注1) REL/MRV、Land Use、Enforcement and Implementation of Mitigation、Legal Framework、Benefit Sharing、Social and Environmental Safeguardの6分野。

## 県REDD+行動計画の策定に向けた郡・村落へのコンサルテーション開始

ルアンプラバン県では、県のREDD+推進のために、昨年5月に、森林セクターをはじめとした県・郡の関係各部局から構成される県REDD+タスクフォースが設置されました。F-REDDは、ここ半年かけて、県内の森林減少・劣化要因分析を始め、森林減少・劣化対策の検討、実施に伴う環境・社会リスクの検討など、行動計画の策定に向けた県関係部局との会合を重ねてきました。昨年7月のキックオフ会合、同12月のREDD+研修に続き、この2月3日に開催された会合では、県REDD+行動計画の策定プロセスや実施体制、スケジュールが議論されました。

今回の会合では、利害関係者、特に、森林管理を担う郡行政官や、森林地域に居住する村人の参加を確保するセーフガードの観点から、県関係者だけでなく、郡行政官や村人と協議するためのコンサルテーションを行うことで合意しました。また、このコンサルテーションの実施に際しては、県REDD+推進の事務局となっている県REDD+オフィスがリードし、郡でも担当部局から構成されるユニットを立ち上げることとなりました。

これから、1か月近くかけて、ルアンプラバン県内12郡や、森林減少が進んでいる村落を訪問し、県REDD+行動計画策定に向けたコンサルテーション会合を実施することになります。F-REDDは県REDD+推進に向けた県や郡のイニシアティブを、引き続き支援していきます。



メンバーである県関係部局及び郡副知事が今後の県REDD+行動計画の進め方について検討した。

## 森林セクター動向調査

ラオス農林省は国家REDD戦略策定及び森林法改正に取り組んでいるところであり、その後、REDD+の役割や取組み方向を取り込んだ形で森林戦略を改訂することも想定されています。

F-REDDはREDD+活動のみならず、中央政府の森林政策・制度面についても支援をしており、準備段階のとしてラオスにおける森林関連の情報を収集・整理するために森林セクター動向調査を行いました。調査は約2ヶ月にわたり行われ、森林面積変化の実態や要因、木材伐採・輸出、植林など8分野で計26の指標にとりまとめました。報告書はF-REDDだけでなく、ラオスの森林セクターやドナーの意見やコメントを取り入れていきます。

この調査では森林減少の主な要因が商業的農業生産地の拡大にあること、ラオス政府が定めている木材伐採量のデータと国連が提供しているラオスからの木材輸出量に大きな乖離があり、近年は減少傾向にあるものの依然として大量の違法伐採が行われていることなどが明らかになりました。また、2000年以降韓国・日本への白炭輸出が急増したほか、2010年以降は中国及びタイ向けの黒炭の輸出も急増しており資源劣化の懸念もあります。これらの結果はラオス国の森林法改正の前提となる改正方針の策定や、ひいては森林戦略の改訂方針にインプットされることとなります。

## 森林サブセクター作業部会会合開催

ラオスは昨年4月から行っている政府組織改革の一環として天然資源環境省森林資源管理局の農林省森林局への統合を進めている影響で、長らく森林サブセクター作業部会が開催されていませんでしたが、この度3月24日に農林省が担当している農業・地域開発セクター作業部会のもとでの第1回会合が半日開催されました。今回の会合では部会の運営規約案の提案と今後の活動予定をラオス政府及びドナーの政策対話の場である円卓会議や上位セクター作業部会での森林関係課題に沿ったものとする事としました。また、セクター管理・運営に大きな影響を及ぼす森林法改正、3種森林境界見直し、FLEGT交渉（EUの合法材輸入規則に沿った国内制度創設）及びREDD+の現状や予定などについてラオス側担当者からプレゼンテーションが行われ、特に森林法改正内容や3種森林境界見直し手法などについて活発な議論が行われました。



議長サイサモン次長（右）と  
共同議長の牧本次長（左）

## 成果毎の主な活動

### 成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆森林セクター動向調査
- ◆森林サブセクター作業部会会合開催

### 成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆第2回NFI 2016-2017年乾季における調査完了
- ◆森林・非森林境界年確定調査完了
- ◆RELドラフティングチーム設立及び第2、3回会合開催
- ◆2015年及び参照年森林区分図の修正作業
- ◆森林減少・劣化地域の要因調査結果取りまとめ
- ◆NFMSの物理システムセットアップ作業

### 成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆6技術作業部会の合同会合開催
- ◆第3回REL/MRV技術作業部会会合開催
- ◆ERP作成スケジュール及び執筆分担の確認

### 成果4：ルアンプラバン県のREDD+準備支援

- ◆県REDD+タスクフォース（PRTF）第3回会合
- ◆県REDD+行動計画（PRAP）策定に向けた郡・村落レベルでのローカルコンサルテーション
- ◆PRAP優先政策パイロットの計画立案

## コンタクト

### プロジェクトオフィス

Kouvieng Street,  
Sisaket Village,  
Chanthabouli District,  
Vientiane Capital, Laos  
Tel & Fax: 021(22)2536

### プロジェクトHP

[http://www.jica.go.jp/  
project/laos/018/index.html](http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html)

## 次期四半期のイベント

May.  
第2回JCC (Joint Coordination Committee)  
年次ワークショップ（第2回）  
第4回REL/MRV技術作業部会

Jun.  
森林サブセクター作業部会



天然資源環境省  
Ministry of Natural Resources  
and Environment (MONRE)



農林省  
Ministry of Agriculture and  
Forestry (MAF)



独立行政法人  
国際協力機構